

横根平子のまちづくり通信

2016年7月発刊

横根平子のまちづくりを考える会

vol.11

今年もヒメボタルの時期が終わり、いよいよ夏本番。
このまちにも、草木が生い茂り、虫たちの羽音が響く、生命力あふれる季節がやってきました。
今回もこの春の活動報告と、総会の様子をお伝えしつつ、この一年を振り返ります。

私たちのまちは、こんなまち

4/30 (土)

今年も開催!
春の自然観察会と青空カフェ

季節毎のまち歩きも早6回目。おなじみ自然観察指導員Iさんと共に、鳥のさえずりに耳を澄ませ、楽しい時間を過ごしました。

当日は、ケーブルテレビ「知多メディアネットワーク」の取材もあり、後日、エリアニュースとして取り上げられました。下記の「【5月3日】自然に触れて再発見」でご覧になれます。<http://www.medias-ch.com/movie.php?y=2016&m=5>



ヒメボタル調査
2016年版

5/7~5/24の夜間、
累計1,003匹を観測。

昨年に続き、今年も目視で発光数をカウント。今年も早い時期から長期間観測できました。その数は1,000頭を超え(ヒメボタルは「〇頭」と数えます)、さらに昨年は見られなかった場所でも発見。幻想的な光に、見つけた子どもたちは目を見張っていました。



オオバコ相撲で、勝負!



今回は春の草花で遊ぼうと、タンポポやオオバコを摘みながらお散歩。畑に戻ると、子どもたちはオオバコ片手に相撲大会で大盛り上がり。身近な自然の中で人が集い、笑い合う喜びを感じました。

オオバコには、背が低く太いものと、長く細い外来種のセイヨウオオバコとがあります。さて、どちらが相撲に強いでしょうか?

草むらや畑、人家裏庭にも生息。

幼虫調査を行った竹林はもちろん、雑木林や草むら、畑、道端など、かなり広範囲でその姿を確認しました。
貴重な陸生ホタルで、恵まれた自然環境の中でしか生息できないと言われるヒメボタル。
岡山県では天然記念物に、大阪府や名古屋市では、準絶滅危惧種に指定されています。

まちづくりは、今

まちと未来を見つめた1年間を振り返りつつ、5年目へー。

6/26 (日)

2016年度 総会開催

2012年5月に発足した「横根平子のまちづくりを考える会」。最初は「このまちはどんなまち?」と皆で話し合う所からスタートしました。その後、メンバーや地域の方達と親交を深めながら、まちの良さを発見し、考えてきた4年間。これからも、まちづくりについて真摯に取り組みます。



2015年、私たちはこんな活動を行いました!



12月12日初冬の自然観察会と青空カフェ
初参加者からは「こんないい所があったなんて! 子ども達には絶好の遊び場だね」との声が。ともすると当たり前の、まちの良さを再認識しました。

5月4日春の自然観察会と雨カフェ
観察会初の雨!小ぶり程度だったので傘をさして、それもまた新鮮です。



5月13~28日 ヒメボタル調査



本格的に発光数を調査し記録。調査期間中の夜、横根平子地区で、累計758頭ものヒメボタルを観測しました。

9月 里山マップ完成



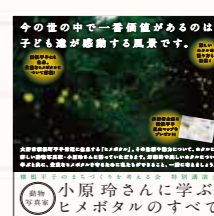
自然観察会やヒメボタル調査を集約した手描きマップ。神田小学校、大府東高校、大府市役所の方々にも見ていただきました。

▲裏面は夜の里山・ヒメボタルマップ!



10月31日 中日新聞掲載

「里山マップ」と「小原玲さん講演会」について、取り上げていただきました。



11月1日 特別講演会

メディアにも多数出演するヒメボタルに詳しい動物写真家・小原玲さんを招いて講演会。70名以上の方にご参加いただきました。

11月22~29日 ヒメボタル幼虫調査

小原玲さんのアドバイスを元に、イカ刺しを入れたフィルムケースを会員所有の竹林に埋めて一週間。100個のケースから10匹もの幼虫が出てきた時には、歓喜の声が!



12月 ヒメボタル幼虫調査報告書作成

まとめた報告書は、「ふるさとの森提案書」と共に1月21日、大府市役所へ提出しました。



1月23日 中日新聞掲載

大府市役所を訪れた様子を、掲載していただきました。

★里山マップ、ヒメボタル幼虫調査報告書はホームページからダウンロードできます。

問い合わせ先
横根町平子

鷹羽 0562-46-4380
加納 0562-47-2595

<http://yokonehirako.jimdo.com/>
横根平子のまちづくりを考える会

検索

ブログも更新中!